

効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名	担当室	
平成30年度	市単	市民総活躍による『なばり元気のもとづくり』プロジェクト ～人材を磨き、地域資源を生かし、もの・仕事をつくり、名張を元気にする～	商工経済室／医療福祉総務室 子ども家庭室／学校教育室	
事業実績額(円)		42,072,836		
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	①元気創造プロジェクト／②若者定住促進プロジェクト		
	基本的な方向	①就業機会の確保と雇用の創出／地域産業を担う人材の育成／地域産品、地域資源を活用した“名張ブランド”の創出 ②移住・定住の促進と支援／子育てしやすい労働環境整備／安心・安全な子育て環境づくり		
	具体的な施策	①なばり元気のもとづくり～人材を磨き、地域資源を生かし、もの・仕事をつくり、名張を元気にする～ ②産み育てるにやさしいまち“なばり”の実現／“なばりブランド”としての“ひと”づくり～魅力ある教育の推進～		
事業期間		平成28年度～平成30年度		
事業の目的		<p>(1)次世代を担う若者の移住定住支援プロジェクト</p> <p>①創業、異業種連携、多角経営化による新たな事業創出を喚起・支援する体制の構築、近畿大学工業高等専門学校との連携による人材育成など新たな雇用創出、郷土産品に対する支援、幼少期からのふるさと学習の実施により、歴史・文化を通して子ども達の郷土愛を育み、本市に愛着を持てるひとづくりを目指します。</p> <p>②子育て中の女性の就労相談、セミナー開催等による就労意欲の喚起、企業訪問による啓発活動や女性の労働条件と企業のマッチング、子育てに配慮した職場づくりの支援、放課後児童クラブの充実等女性が働きやすい環境づくりの取組を行います。</p> <p>(2)地域を生かした雇用創出プロジェクト</p> <p>農産品の直売所の運営を起点に加工業者、レストラン等との農商工連携を推進し、地元農産品の地元での流通量の増加、地産地消など“食”を通じた雇用創出を図ります。</p>		
全事業期間における本年の位置づけ		<ul style="list-style-type: none"> ・1日目、2日目の事業について実績や状況の見直しを行い、前年と同一事業であってもより効果的な実施を行う。 ・子育て女性に対する支援として、就職のマッチングに着手し、農商工連携にあつては、新商品開発や試行的な出店によりビジネスチャンスを探る。 		
重要業績評価指標(KPI)	指標	基準値(H28.3)	目標値(H31.3)	実績値(事業終了時)
	交付対象事業の取組による雇用創出数	—	115件	124件
	とれたて名張交流館の売上金額	118,596千円	売上金額 132,000千円 (13,404千円の増)	売上金額 93,300千円
	プロジェクト協力事業所数	—	60事業所	195事業所
平成30年度の取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・女性の働きやすい環境づくりを目指し、子育て支援員の養成等の事業(研修会、託児実習)を実施するとともに、子育てをはじめ様々な活動を行うボランティアに係る総合的な情報発信、意欲ある高齢者や女性等の社会参加につながる活動への支援に取り組みました。 ・子育て世帯の仕事と家庭の両立支援を図るため、名張小学校、錦生赤目小学校区放課後児童クラブの増設を行いました。 ・『ふるさと学習「なばり学」』を推進し、義務教育の9年間を通してふるさとへの愛着の醸造を図りました。 ・未来へつなぐ学びの支援事業として、学習環境として学校図書館を活用し、夏季休業中に開放を行うなどの取組を行いました。また近大高専の学生や地域の方を補充サポーターとして受入れ、学生自身の指導力や人間力向上を図る取組を行いました。 ・新雇用創出事業では、就職セミナーの開催、創出支援を行うとともに、事業所紹介を制作し、積極的な雇用創出と産業活動を支援しました。 ・小中学校において生活習慣の大切さを伝える授業を実施し、学校保健委員会に参加するなど、学校との連携を強化しました。また、まちじゅう元気!!リーダー研修では、介護予防などに関する講座を実施し、「よくばり青春体操」を知りに普及させるために、各地域で使用できるようDVDの増刷を行いました。 		
外部有識者による効果検証	検証の時期	令和元年7月		
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による		
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用については、企業では人材不足が課題となっている中、外国人就労者も増加している。外国人就労者への言語習得などの就労支援も今後の課題。 ・「雇用創出」「新商品・新技術の開発研究数」については、件数を伸ばすことも必要であるが、質が重要である。 ・雇用創出において、新規就農者に対するバックアップを強化していただきたい。農業で自立することができるよう、地元のキーパーソンへとなる人物へつなぐなど支援をしていただきたい。 ・雇用創出においては、企業が求める人材と、求職者のニーズのマッチングが重要。Uターンや、新卒・中途採用などターゲットを絞ったセミナーがあれば、市外へ転出した若者世代のUターンにも繋がるのでは。 ・「とれたて名張交流館」の売上増を図るため、地場産の食材の販路拡大のために「とれなば」を活用できないか。動くスーパーマーケットとして利用するなど、市民のニーズにも応えられるよう何らかの工夫が必要ではないか。 ・地方創生の取組は、地域の隅々にまで知られていない印象がある。現場の声を反映した政策を行うことも必要。市民一人ひとりが名張の営業マンになってほしい。 		
結果の公表	令和元年9月以降 ホームページで公表予定			
市議会による効果検証の有無		有 ・ 無 (時期 : 令和元年8月)		
総合評価		一部のKPIが目標値を達成しなかったものの、概ね成果が得られた		
今後の方針	方針	事業の継続		
	理由	計画どおり事業を継続する		